

全員協議会

○塩浪住宅団地整備の経過

平成26年9月 民間プロポーザルの実施
(土地を村より買取り、村に代
わって住宅団地開発及び宅地販
売を行う事業代行者募集)

※期限9月30日まで応募者なし。



村主体の整備手法に切替える。

《今後の計画》

平成26年度 実施設計
平成27～28年度 工事
平成28年10～11月頃 分譲開始
※5年以内の販売完了を目指す

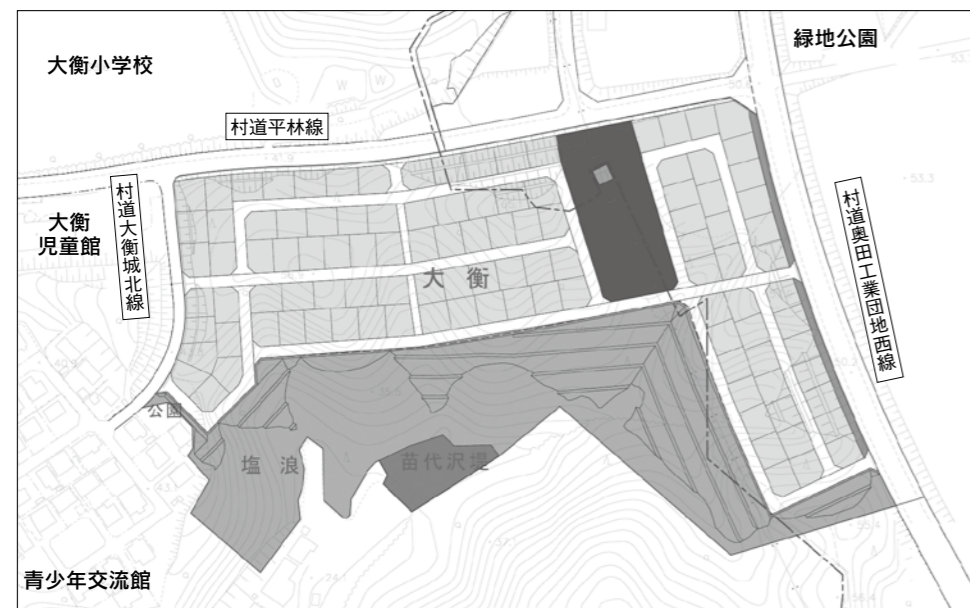
村長 工事の入札不調への対応は
県内での施工単価が上昇
しており、実施設計後の積算で、
造成費用の増額も考えられる。

都 3億円あまりの起債(借入
金)、村全体の財政に影響は
都 財政運営上、問題の無い範
囲である。

都 塩浪の開発にあたっては、
平林地区・ときわ台地区の計画
面積の変更であり、中心市街地
(五反田地区)への影響はない。

村長 都市整備課と農林建設課の2
課の協力体制で行う。今の職員
数で対応する。

都市整備課長 一区画面積は
ときわ台団地と同程度で70
80坪で設計している。



10月24日、全員協議会※が
開かれ(仮称)塩浪地区住宅
団地造成事業の報告があった。
村有地6ヘクタールの団地
開発及び宅地販売を行う民間
の事業代行者を募集したとこ
ろ、応募者がいなかったため、
先の議会での説明のとおり、
村主体による開発に変更する。

あわせて、特別会計の設置、
整備の財源、概算工事費、都
市計画の変更、森林法並びに
河川法の許認可、スケジュー
ルなどの説明も受けた。
ときわ台団地の完売を受け、
分譲開始から5年以内で販売
完了を目指す。

塩浪団地開発、村主体で実施 プロポーザルに応募なし

※全員協議会 全議員で構成される、本議会や
委員会とは別の会議で、村長からの報告を受
けたり、議会での意見の調整を行うために開
かれる会議

年頭のご挨拶

大衡村議会議員 萩原達雄

希望に満ちた新春をお健やかに
お迎えのこととお喜び申し
上げます。また、平素より
村議会に対し温かいご指導、
ご協力を賜り厚くお礼申し上
げます。

東日本大震災から3年10カ
月になりますが、被災地の復
興・再生は遅々として進まな
い状況にあります。昨年も全
国各地で、大雨、暴風などの
災害が発生しており、9月末
には御嶽山の噴火があり、あ
らためて村民皆様の安全・安
心な暮らしを守るため、防災
対策の重要性を痛感いたすと
ころであります。

さて、国政においては政権
交代から2年、一向に回復の
兆しを見せない経済情勢に
あって、TPP問題、消費税
増税、集団的自衛権、原発再
稼働など政情は不安定であり
ます。そのような中、経済政
策アベノミクスの信を問う衆
議院解散総選挙が行われ、戦
後最低の投票率であったもの
の、与党が安定多数を確保し、

第3次安倍内閣の発足に期待
を寄せるものであります。

本村では、企業誘致が順調
に進んでおります。昨年
から操業開始が相次ぎ、ソーラー
フロンティア株式会社、東横
化学株式会社は今春から操業
を予定しております。今後も
更なる企業進出が期待されて
おります。

本年は議会議員の選挙が執
行されます。これまでの4年
間で何をなしたか、これから
の4年間で何を進めなければ
ならないのかを訴えながら、
魅力あるまちづくりに全力
を尽くし、村民皆様にとって
「身近な議会」開かれた議会
となるよう努力してまいりま
す。

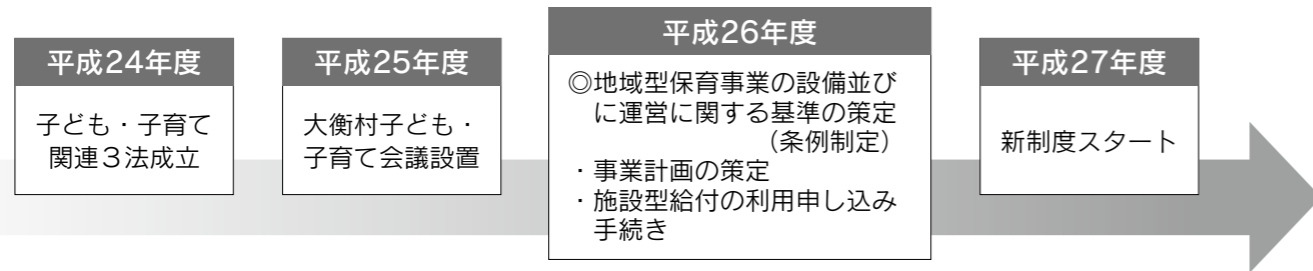
本年も村政並びに村議会に
対し、更なるご指導とご協力
を賜りますようお願い申し上
げ、また、村民皆様にとって、
幸せで実り多く、大いなる飛
躍の年になるよう、心よりお
祈り申し上げます。



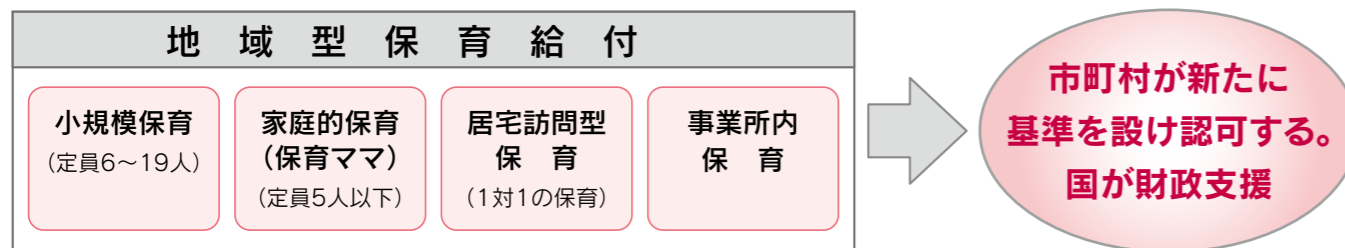
議長	萩原達雄	副議長	細川運一	議員	佐々木金彌	山路澄雄	遠藤昌一	佐藤正志	細川幸郎	高橋浩之	赤間しづ江	佐々木春樹	齋藤一郎	佐藤貢	早坂豊弘	小川ひろみ
----	------	-----	------	----	-------	------	------	------	------	------	-------	-------	------	-----	------	-------

子ども・子育て支援新制度開始に向けた条例制定

- 大衡村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
- 大衡村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例



地域型保育給付と施設型給付 ～保育の質の改善と量的拡充～



○大衡村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

地域のニーズに合わせ、放課後児童クラブの質の向上を図るため、職員や施設・設備について、新たに基準を制定した。

○その他の議案

財産の減額貸付け
ゴルフ場用地
減額貸付期間
平成27年1月1日～
平成31年9月30日

専決処分※
一般会計予算の補正
衆議院総選挙経費
470万円

※専決処分
議会が議決または決定すべき事項を、長が議会に代わって緊急に処理すること。

補正予算審議は次ページです。

7年ぶりの引き上げ 人事院勧告に伴う条例の改正

- 議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例
- 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例
- 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例
- 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例



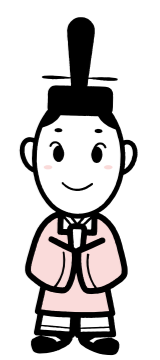
期末手当は、毎年定額支給されるけど、勤勉手当は勤務評価の結果で支給されるんだって

あらまし
平成26年第4回定例会は、12月11日から12日の2日間開かれまし
た。
村長から提出された、専決処分1件、平成26年度補正予算7件、条例制定5件、条例改正11件などの26件の議案は慎重審議を経て、原案のとおり可決されました。

	期末手当支給率 (変更前)	期末手当支給率 (変更後)
・議会議員 ・村長、副村長 ・特別職の職員(常勤) ・教育長	3.05月(年間)	→ 3.10月(年間)
	※期末・勤勉手当支給率 (変更前) (変更後)	
・一般職員	3.95月(年間)	→ 4.10月(年間)

※加算の0.15月は、すべて勤勉手当になります。

●手当・給与などを引き上げ
民間企業の賃上げ動向を反映し、今年度の国家公務員に対する人事院勧告は、7年ぶりの引き上げとなった。それに伴い、ボーナス(期末・勤勉手当)の支給率、月額給与表、通勤手当が改正された。



- 大衡村特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金の設置
2力年以上にわたり計画されている公共施設整備や給付事業経費などの財源にするため、9条交付金を積立てる基金が設置された。
- 大衡村宅地造成事業特別会計を設置
- 大衡村新型インフルエンザ等対策本部署の制定

- 大衡村企業立地促進条例の改正
企業立地促進奨励金、雇用促進奨励金の交付期限が、平成32年3月31日までに延長された。
- 大衡村心身障害児就学指導審議会条例
大衡村教育支援委員会に名称が変更
- その他4件が改正されました
- ※9条交付金とは
防衛施設周辺の整備等に関する法律第9条に定められた国からの補助金

米一俵60キロに400円を交付
米価下落対策臨時交付金1860万円を追加

◆ 一般会計補正 ◆
総額44億1712万円に

- ・災害復旧費（台風19号など） 2819万円
- ・児童手当（対象児童数増加） 430万円
- ・奥田大森線改良 ▲906万円
- ・尾西中山線改良 ▲2499万円

○ 主な審議 ○

米一俵あたり400円にした根拠は
企業の償却資産、新築物件などの固定資産税の増額分、12月以降に見込まれる財源の規模から算定した。

米ナラシ対策つなぎ資金
利子助成金の対象規模は
農林建設課長
現時点で2千万円程度と見込んでいます。

尾西中山線改良事業の減額の理由とその進捗は
農 国交省の交付金、補助金が減額されたため。今年度分事業として、現在設計を進めており、地権者への説明会もまもなく予定している。

各種会計補正予算

会計別	補正額	予算額
国民健康保険	2708万円	5億4119万円
下水道	382万円	2億9275万円
介護保険	348万円	4億9782万円
戸別合併処理浄化槽	435万円	4944万円
後期高齢者医療	▲122万円	4882万円
収益的収入及び支出	29万円	2億3982万円
資本的収入	-	81万円
資本的支出	40万円	1565万円

一般質問 9人の議員が登場

一般質問とは、定例会ごとに、村長や教育長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をただすこと、あるいは報告や説明を求めることを言います。

この一般質問により、執行機関の政治姿勢を明らかにするとともに、政治責任を明確にさせます。

結果として「現行政策の変更」や「新規事業を採用」させるなどの効果があります。

次ページから質問順に内容を要約して掲載します。

佐々木春樹 P7	○今後の介護保険はどうなる ○万葉赤ちゃんサポート事業に柔軟性を
遠藤 昌一 P8	○自動体外式除細動器（AED）について
早坂 豊弘 P9	○農業所得減少への対策は ○BDF（バイオディーゼル燃料）の更なる推進を
小川ひろみ P10	○英語教育をどう考える ○旧幼稚園舎の今後の活用は
細川 運一 P11	○大衡村デイサービスセンターについて ○健康増進施設について
齋藤 一郎 P12	○塩浪地区住宅団地整備計画について ○公金着服事件の真実全容報告はいつ
佐藤 貢 P13	○自然・歴史・文化を活かしたまちづくりを進めては ○タクシー利用券を高年齢者世帯にも交付してはどうか
赤間しづ江 P14	○住民懇談会で話題になった公金横領事件と村長書類送検問題を問う
高橋 浩之 P15	○小・中学生に県外研修の機会を

一般質問



佐々木春樹 議員
(一括質問)

介護保険制度改正は専門的で、文言も難しい。しかし、今後大きな課題となる事なので、住民に対して丁寧な説明をしてほしい。

今後の介護保険は
村独自のものを検討

議員
平成37年には団塊の世代の方々が75歳以上になり、介護が必要な高齢者の数が急増すると見られている。これに備え、国は平成27年度の施行に向け、介護保険制度改革を進めている。

今まで全国一律のサービスだったものが、この改正によって市町村の財政状況、またトップの意識次第でサービス内容に差が出てくる。

来年から施行される改正に対してどのように考えているか。

村長
介護保険制度が大幅に改正になり、自治体の判断もこれからは必要になってくる。財政状況によつて中身も違ってくる。現在第6期大衡村高齢者福祉計画、介護保険事業計画を策定し、村独自のものを検討していくべきと考える。

議員
介護保険料はどのように推移するのか。
保健福祉課長
保険料の算出を進めているところだが、給付費が上がることを考えれば、今までの4300円を維持することは難しい状況である。

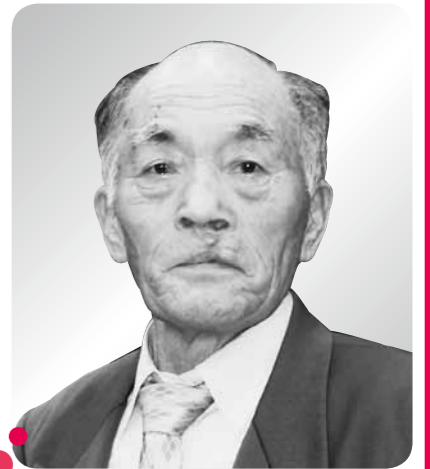
万葉赤ちゃん誕生
サポート事業に柔軟性を
選択肢の幅を持たせる事も検討

議員
妊婦の移動を助ける目的で、タクシー利用券が交付されているが、「紙おむつや粉ミルクだと助かる」との話も聞くようになってきた。選択肢ができる柔軟性を持たせる改正をしてはどうか。

村長
健やかな出産と出産後の育児支援の考えから、村独自の事業として始めたもので、一定の効果や評価をいただいていることは事実である。

育児用品などの選択肢もどうかとの質問だが、タクシー券を無くすのではなく、選択肢の幅を少し広げることも検討する。





遠藤 昌一 議員
(一括質問)

人の命は、地球より重い。

AEDの増設を 調査を行い、進めていく

議員

最近、企業や公共施設で自動体外式除細動器(AED)設置が、見かけられるようになった。村においても、数は把握していないが、企業の一部と公共施設に限定されているようだ。突然の心臓停止は、時間・場所を問わず起こり得る病気と言われている。AEDを使って、一般の人でも心臓停止に対処できるようにしたのは、平成14年、高田宮憲仁親王がスカッシュ練習中に心室細動で急死されたことがきっかけであり、以来、医療従事者以外の

でも、取扱い、設置できるようにになったものである。

兵庫県宝塚市では、「24時間まちかど除細動器」と名付け、市内24時間営業のコンビニ店舗に設置し、重篤な方が発生した場合に、救急車が到着するまでの間、その場に居合わせた人が救命措置対応をしている。

季節の変化や地形によって、救急車の到着時間が異なり、村としてコンビニや、民間の協力を得ながら、公共施設に限定されることなく、設置を見直すべきである。

副村長

突然死を防ぐ効果を期待できる機器として、村でも有効性を認識している。

現在は9カ所の公共施設に設置しているが、全国的に見ても、業者・民間の協力を得て設置している例があり、今後は公共施設に限定せず、設置すべき必要性を考慮し調査していきたい。

議員

公共施設9カ所に対応できるのか、早急に増設する考えはあるか。

副村長

今後、どのような場所に設置したら良いのか、調査・確認を行い、早急にはできないが進めていきたい。



役場庁舎の玄関ホールにあります。



早坂 豊弘 議員
(一問一答)

米価が下がって大変だ～!!

農業所得減少への対策は 補正予算で助成、 現状の支援を継続

議員

米の概算金が昨年比べ25%も減少、農家収入が大幅に下落した。支援融資についてどのように考えているのか。また米の概算金の下落に伴い、農地の受委託・集積等に影響を与えるのでは。農業収入を安定的確保のため畑地化対策を急ぎ、野菜生産の安定化、大衡産ブランドの野菜生産を

村長

コメの価格が下がったことにより、農家の方は大きな打撃を受けている。補正予算で可決して頂ければ助成をしていきたい。また受委託関係については、今後の国の政策等々により大きく左右され、受託者が少ないのが現状である。村独自に受け手・貸し手の方にいろいろ支援はしているが、これからについては分からない。

さらに畑地化を進め、大衡産ブランド野菜の生産は、現在、農業ビジョンで振興作物*としているものを、大衡村地域水田農業推進協議会を通じて助成をしている。

※振興作物

白菜、ナス、ほうれんそう、花き、菌茸、タマネギ、にんじん、キャベツ、ブロッコリー、かぼちゃ、ねぎ、ばれいしょ、きゅうり、ダイコン、行者にんじく

農林建設課長

農地の受け手がいないのが現状、受け手の利用料金等も考え、難しい問題として認識している。水田の畑地化については、暗渠排水に補助率1/2で50万円を上限に、畦畔撤去も補助率1/2で上限30万円、排水路整備も1/2で上限50万円を助成している。



豊作でも素直に喜べない秋

BDFの更なる推進を PRを続ける

議員

BDF(バイオディーゼル燃料)の推進について、農家所得の減少で、更なる利用拡大は図れないか。また使用については安全か。

村長

チラシ、広報等でPRはしている。これからも続ける。使用にあたっては安全であり、利用者からのクレームは来ていない。



小川ひろみ 議員
(一括質問)

期待してますよ!!
早くしないとダメよ~ ダメ、ダメ

英語教育をどう考える 幼・小・中と連携していく

議員

文部科学省は、現在、小学校5・6年生で必須となっていた英語・外国語活動を正式に格上げし、小学3年生から英語教育を開始する方針を発表した。小学生の柔軟な適応力は、将来の実践的コミュニケーション能力を育成するために大事になり、英語力の向上にもつながる。

教材やIT機器の活用、人材活用を積極的に進めていく必要がある。そして、こども園・小学校・中学校との連携が大事だと思ふ。情報交換、専門家を加えての研修で、本村独自の施策を行うべきでは。

教育長

本村では、小学校において平成21年から、教育計画に基づき外国語活動として年間35単位時間をとって、英語教育に取り組んでいる。さらに、1年生から4年生まで、英語に親しむ時間を設け、年間10時間の英語教育を実施している。国際交流

旧園舎の今後は 可能性ある跡地利用

議員

旧幼稚園舎は、現在60万円の維持費がかかっている。今後の方向性・具体策を示す時期ではないか。

村長

障害者の社会参加を促すための、多機能型障害者施設の誘致を考えている。国・県の補助金が該当になる場合もあり、施設運営を民間にお願いする方法もある。維持費以上の跡地利用を考えている。



アダム先生の授業

の場を設けることも今後必要かと思う。担任教師とALTが連携し、教材開発も含めて幼・小・中の連携をとりながら英語教育の推進に取り組んでいく。



細川 運一 議員
(一問一答)

大衡村と社会福祉法人永楽会の双方にメリットがあると思う。まとまるか…… 少し不安。

デイサービスセンターの 譲渡を 永楽会との協議を指示

議員

大衡村デイサービスセンターは、指定管理者の永楽会によって管理運営されている。基本協定により1件につき10万円以上の修繕や解体は、村の費用と責任において実施しなければならぬ。デイサービスセンターは行政財産ではあるが、今後の財政負担を考えると、永楽会に譲渡することが行政改革になるのではないか。

村長

デイサービスセンターは、平成4年度に永楽会の土地を無償で借りて建設した。その後、民間の施設が村内外に整備されており、公設を維持する意義は薄れてきている。行政財産ではあるが譲渡は可能であり、事業を開始してから20年以上経過しているため、補助金の返還義務は生じない。サービスの水準を保つためには維持費もかかるので、担当課長に永楽会と協議するように指示したい。

健康増進施設とは

現時点では未定

議員

施政方針で述べられている健康増進施設とは、どのようなものか。

村長

幼児から高齢者までの、地域住民が健康で豊かな生活を過ごすことのできる村づくりの拠点施設と考えている。温水プール・トレーニングジム・フィットネススタジオ・風呂・サウナなどが想定されるが、現時点においては未定である。

万葉・おおひら館やコンビニエンスストアに隣接する未着工区域の活用を考慮しながら、整備の手法や管理運営形態も含めて検討していく。



あつという間の20年
通所介護の草分けです





齋藤 一郎 議員
(一問一答)

最初から資料で全容を明らかにし、防止策をきちんと示せばここまで引きずることはなかったですよ。村長！！

塩浪地区団地整備計画内容は 整備事業を 民間から村直営に

議員

村にとっての一大事業である団地整備計画が基本計画に載っていない。25年から27年までの実施計画書にもなく、村長の計画性の無い思い付きと考える。

施工監理を村職員が直接行うのかコンサルタントに委託するのか。

計画地内にある溜池の農業用水確保と防災調整との役目について、地元水利組合との協議は。

村長

プロポーザル方式により事業代行者を公募したが結果的に応募者が無く整備手法を村直営に切り替えた。

施工監理は直接村が行う計画である。

溜池の高上げ関係は地元水利組合の利用形態について聞き取り調査をしており、設計案ができた段階で水利組合に相談することによって了解を得ている。

議員

平成24年5月26日の新聞報道を受けて開かれた28日の全員協議会で、資料一つ出さず口頭のみで終始したのはなぜか。

村長は「資料を出さなければならぬ規定は何もない。口頭で説明しているので問題はない」と答弁しているが、事の重大さを明らかにしたくないが為に口頭説明に終始したと理解している。

400万円が弁済されている事実を村長は知っているながら、なぜ報告しなかったのか。村長は「通告されていないから答弁しない」としたが今回通告しているのだから答弁を求める。

村長

当時は調査中ということで答弁している。それ以上のことは答弁を控える。



公金着服事件の 真実全容報告はいつ

告発されている身であり 答弁は控える

議員

村民の意識調査によると、大衡村の自慢は「緑豊かな自然が多い」が最も高く評価されている。昭和万葉の森をはじめ、四季折々の楽しみがある牛野ダム湖畔公園、登山コースとして人気のある達居森など自然豊かな観光名所を、今後どう活用していくのか。

教育長

豊かな自然を活かしたレクリエーションの場である昭和万葉の森や達居森は、自然環境や良好な景観を活用しながら、広域的な観光地として利用促進を図っていききたい。

議員

村内には数多くの遺跡や文化財など歴史的資源が残っている。今後どのように保存し、周知を図っていくのか。また、生涯学習事業計画に取り入れる考えは。

教育長

村では毎年現地調査を行い、その調査概要を県文化財保護課に報告している。

また、民俗資料館や役場玄関ホールなどの展示スペースなどを有効に活用し、幅広く文化財の情報を発信していくと共にマップを作成し、大衡村の魅力ある資源をPRしていきたい。



佐藤 貢 議員
(一問一答)

自然・歴史・文化を 活かしたまちづくりを マップを作成し、PRを図る

大好き♡大衡村！！
地図を片手に大衡村を
ぶらり歩いてみませんか。



タクシー利用券を 高齢者世帯にも

より良い制度を調査していく

議員

少子高齢化が進み、高齢者人口が増えている中、交通手段としてタクシー券を一番必要とされているのは、運転免許のない高齢者である。こういった高齢者世帯を対象とした、タクシー利用料金の一部を助成してはどうか。

村長

交通手段を持たない方々の足を確保するため万葉バスや代替バスを運行している。

また、要介護認定を受けている方についてはケアプランの中で、障害者手帳をお持ちの方には、バスやタクシーの割引制度がある。より良い制度を調査していきたい。



赤間しづ江 議員
(一問一答)

事の真相は一体どうなっているのか。何も解決していないし、謎は深まるばかり…

村長の書類送検問題 検察の判断後に考える

議員
去る11月、村内4会場で行われた「住民と議会との懇談会」で、公金横領事件にかかる村長の書類送検問題が話題になった。

9月27日の新聞によると、告発を受けて警察が1年かけて捜査した結果、元幹部職員3人も関わり送検されたという新事実が報道されていた。「虚偽有印公文書作成、実際の金額より少なく記載」とあったが、それはどういうことか。また、幹部職員を巻き込んでまで、元職員をかばう理由は何だったのか。

村長
告発したほうが知っているのではないかと聞かれても答えられない。司法のほう（検察庁）にいつているので答弁は差し控えたい。



議員

発覚から2年半になるこの事件について、村長から一切説明がない。村民は、報道のみで知るところという状態が、いまだに続いている。

いつ、どのような形で真相を説明し、謝罪するか。

村長
今までも何回となく謝罪をしている。議事録を見ていただければ分かると思う。

議員
役場に家宅捜索が入り、元職員が逮捕され有罪判決が言渡された今回の公金横領事件、さらに、村長が書類送検されたという事実、村政史上に起きた重大な不祥事である。世間を騒然とさせ、村民の信頼を失ったことに対し、どう責任を取るのか。

村長
司法の判断が下された後に、いろいろ考えたいと思っている。



高橋 浩之 議員
(一問一答)

日本は大きい！！
子供たちに視野を広げる機会を作れ

小・中学生に 県外研修の機会を 前向きな体制で臨んでいく

議員
現在、小学生を対象に「里の子海の子交流事業」を行なっているが、参加者も近年は10数名と減少しており、マンネリ化しているのではないかと。また中学生は人材育成事業として、盛岡市や蔵王少年自然の家、沖縄にも行っている。その後、鹿町立大原中学校との交流会が行われたが、現在何も実施していないのはなぜか。

教育長
平成11年より行われている「里の子海の子交流事業」は、相手先の小学校の統合や、インフルエンザにより中断していた。大震災後の交流会から、仮設住宅訪問・被災地支援として再開しているが、マンネリ化による参加者減は否定できない。さらに中学校の授業時間数から見ると、年間980時間から1015時間と増え、授業時数自体を確保するのも至難の業となっている。



昨年の里の子海の子交流会

議員
世の中は国際化が普通になっているが、まず大衡の子供達には、根本である日本の姿を知ってほしいと考える。そこで校外学習や修学旅行とは違う、全国を対象とした自然や文化の世界遺産に触れて、視野を広げることのできる機会を作り、そのための予算として人材育成基金の活用も図るべきではないか。

村長
基本的な考えとして一定の生徒ではなく、全体的な生徒を対象に事業を進めていく。基金についても運用益の中で行なっていく。

教育長
広い視野を持つ子供達を育てることは、非常に大切である。そのため本能的にこれまで行なってきたことを考慮し、前向きな体制で臨んでいきたい。



仮設住宅に訪問し、ひな祭り飾り壁掛けを届けた

一般質問のその後

追跡

質問や提言が、村政にどう反映されているか。これまでの質問の中から一部を取り上げ、その後どうなったか追跡してみました。

汚染牧草の一時保管対策

Q 放射能による汚染牧草はどのくらいありどのように保管するのか。

26年3月定例会

A 牧草ロールが634個ある。村有地に集中保管する。

Q 低線量とは言え、放射能汚染物である。ロールの劣化も著しい。早く進めるべきである。

26年6月定例会

A 候補村有地の絞込みに、時間がかかっている。

Q 村有地から民有地に変更し、生活圏近くに保管となった理由は何か。

26年9月定例会

A 土地提供者の申出により変更した。空間線量結果も問題ない。村が管理し安全を確保する。



大森地区

○汚染牧草集積業務

公益社団法人みやぎ農業振興公社に、580万円あまりで委託している。平成27年3月27日までに完了する見込みである。

(抜粋)

—もっと前に全容を話すチャンスがあったのではないか。
また住民に対してもう少し丁寧な説明を求めよう。
村長 減額した金額で報告した以上、それを途中で変えることはなかなか出来なかった。今後、機会があれば話していきたいと思っている。
—不起訴処分となり刑事事件として決着はついたが、道義的責任は残っている。
村長として村民にどの様に真実を明らかにしていくのか。
村長 各地区の総会の席上でも話していきたいと思う。また、本議会にせよ臨時会にせよ話していきたい。

村長から横領事件について報告と陳謝

元職員の横領事件は、平成23年9月中旬に領収不明金が発覚し、その後3年と3カ月皆さんにご心配とご迷惑をおかけしました。平成24年5月28日開催の全員協議会において、真実と異なる答弁をしたことなどについて告発を受けました。平成26年12月15日付で仙台地方検察庁より不起訴処分となりましたが、次のとおり報告しながら陳謝を致したいと思います。

23年10月頃、元職員の横領事件の報告を受け、金額も400万円を超える事を知らされたが、元職員の家族が全額を弁済し村に経済的損害がなかった事、および23年3月11日発生の東日本大震災以来、ライフラインの上下水道の復旧復興に不眠不休で従事していた事から、元職員に更生の機会を与えたいという思いで、厳しい分限処分を控えるため金額を90万円程度とし、業務上事務処理の怠慢とする始末書を作成させました。村政を預かり職員の適切な職務執行に責任を持つ者として、きわめて安易でその職務に反する行為であったと深く反省しております。さらには平成24年5月28日開催の全員協議会では、元職員に対する分限処分が執行済みであった事から、やむを得ず事実関係について始末書に従い、真実と異なる答弁をしてしまいました。それについても深く反省しお詫び申し上げます。今回の件で告発を受けたことで、捜査機関による事

情聴取を受けており、前記のように真実と異なる始末書を作成させた事実、および全員協議会において同様の答弁をした事実を話しております。不起訴の判断に至りましたが、改めて多大なるご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。今後は反省を忘れずに、村民一人ひとりが幸せになるように、また大衡村の更なる発展のために全身全霊を傾注し職責を果たしたいと考えております。なお、私は自らを律するため、報酬の一部返上も考えていきます。

早急な住民説明を！ 道義的責任はどうする？

視 察 研 修 報 告

平成26年11月12日～13日

親しまれる紙面づくりを視察

復興への取り組みを視察

平成26年11月10日～11日

- 昭和48年3月創刊、年4回発行で現在169号
- 発行部数 5200部
- 編集委員 6人(任期4年)

いわいずみ議会だより

表紙の写真「まちの笑顔」が非常にきれいで、被写体もインパクトがあり、文字とのバランスもよく好印象であった。住民の声もたくさん掲載されている。

岩手県 岩泉町議会

人口 10,398人
面積 993km² (本州随一)



JR 岩泉線の廃止受け入れ 2p
岩泉乳業へ4億円補助 4p
町の考えを問う (7議員が一般質問) 6p
町民との意見交換会「議員と語る会」開催報告 14p

議会広報は、**訴求力**と**住民対話**



岩手県 雫石町議会

人口 17,608人
面積 609km²

- 平成4年5月創刊、年4回発行で現在91号
- 発行部数 5600部
- 編集委員 7人(任期2年)

しずくいし議会だより

全国的に珍しい横書きの広報誌で、特に数字が見やすく読みやすい。表紙の写真は町内のプロカメラマンがボランティアで撮影している。在京町友会による「ふるさとへの便り」や夫婦紹介など親しみのある記事内容である。

広報委員会からのお願い

議会だよりの取材のため、議会議員や事務局職員が写真撮影等に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

**住民皆様と育む
広報誌を目指します。**
(大衡村議会)

研修を終えて

どちらの町も紙面上に多くの写真を取り入れており、写真の画質もきれいである。特に表紙は被写体も含めバランス良く仕上がっている。

また住民の声も多く掲載され、住民対話が良くできていた。どちらも全国コンクール入賞の常連であり、企画・デザインともに優れていた。

福島県 広野町議会

人口 5,163人
(居住人口 1,850人)
世帯数 1,982戸
(居住世帯数 912戸)

全町避難指示解除

大震災と福島第一原発事故により、全町避難指示が出された。平成24年3月に、指示が解除され帰還が進んでいる。

平成23年度予算を審議する議会は、閉会で終了した。

復興を優先するために、町長の専決処分です業をすすめた。



閉鎖された一般住宅

報酬・定数を削減

議員の報酬20%をカットして、議員定数(12人)の削減も検討している。

仮設住宅でも、懇談会を開催して、意見聴取に努めている。

予算が38億円から112億円に

火力発電所があったことで財政力は高かった。

平成22年度の一般会計予算は、38億円であったが26年度は112億円となっている。

来春、イオンが進出

役場前にある町有地にイオンを核店舗とする公設民営の複合施設が整備される。

復興と住民の帰還を促す役割を担う。

災害公営住宅の整備

JR常磐線広野駅東側に町民向けの災害公営住宅48戸が完成した。

町営住宅185戸のリフォームも完了している。

ふたば未来学園高校

平成27年4月に、役場に近しい広野中学校校舎に、県立中高一貫校が開校する。平成31年には新校舎が完成する予定である。

研修を終えて

広野町の議員の方から「災害を想定したリスク管理が必要である。協力してもらえぬ団体等を把握しておくことも大事である。」と説明を受けた。

婦りの車窓から荒廃した水田や無人の集落を見た時に、被害の大きさを改めて感じた。

険しい道のりだと思いが復興が着実に進むことを祈りたい。



調査年月日：平成26年11月21日

調査年月日：平成26年11月19日

現地調査

● 中央精機東北株式会社



所在地：大衡村松の平3丁目1-3
 設立：平成22年3月10日
 事業内容：自動車用スチールホイールの製造、タイヤとの組み付け
 生産能力：年間約200万個
 従業員数：57人



トヨタ自動車の子会社でホイール製造大手、中央精機株式会社（本社事業所：愛知県安城市）の生産子会社として設立された「中央精機東北株式会社」の本社工場は平成25年12月に完成した。

工場では成形機や溶接機など、ホイールを一貫生産する設備を揃え、トヨタ自動車東日本株式会社が生産する小型車向けにホイールを供給している。

その他の所管事務調査

* 農林建設課

● 平成26年度行政区毎生産調整状況

平成26年度の生産調整状況は、行政区毎のばらつきはあるが、達成率は101.7%で生産数量目標は達成された。

* 都市整備課

● おおひら万葉パークゴルフ場利用状況

平成16年の開園以来9月末で総利用者が575,232人となり、順調に推移すれば平成27年4月中旬に60万人に達する見込みである。

* 企画商工課

● 大衡村企業立地促進条例の改正

● 大衡村防災行政無線放送施設更新工事

防災行政無線放送施設更新工事も順調に進み、平成27年1月から3月まで各家庭の戸別受信機の付替工事を行う。



デジタル化更新にご協力願います



現地調査

● (株)環境開発公社MCM

(大崎市古川北宮沢)
 創業：平成2年3月6日

主な事業概要

- 焼却施設・・・処理能力30m³/日×2基、24時間稼働
- 破砕施設・・・処理能力224.8トン/日 100%リサイクル
- 金属リサイクル・・・廃OA機器などを解体、分別を手選別で行い、その中から貴金属（レアメタル）を回収する。

その他の所管事務調査

* 住民税務課

● 臨時福祉給付金 申請受付件数・支給状況

申請書発送人数	受付件数	対象者数	うち加算人数	不支給人数	支給総額
849人	468件	803人	267人	7人	1,008万円

● 子育て世帯臨時特例給付金 申請受付件数・支給状況

申請書発送人数	受付件数	対象者数	不支給人数	支給総額
728人	393件	727人	なし	727万円

● 宮城県市町村合同公売会 in 大崎

平成26年11月8日、古川の武道館において県内で初めて、地方税の滞納者から差し押さえた物件を、県主催で公売会を実施した。大衡村からは3点が出品され、2点が落札された。来場者は482名で、242点が出品され、そのうち落札件数は205点で、落札総額は101万7815円となった。



衡上地区
いし かわ あい か
石 川 愛 華 さん
(小5)

「私の夢」

私は、絵を描いたり、話を書いたり、話を作るのが好きなので、マンガ家になりたいです。

「学校での一番の楽しみは」

休み時間に、図書室に行くことです。
私は、本を読むことが好きなので、新しい本が入るのが楽しみです。

「大衡村の好きなところは」

自然がいっぱいで、行事がいっぱいあることです。

「今がんばっていることは」

けん玉です。私は、けん玉が苦手なので、いっぱい練習して得意になりたいです。

「大衡村への要望は」

親子で遊べるところを作ってほしいです。

表彰

村議会議員として多年にわたり
地方自治の振興発展に寄与された
功績により、宮城黒川地方町村議
会議長会長より表彰されました。



細川幸郎議員 細川運一副議長 高橋浩之議員

次の定例会は、3月10日からの予定です

平成27年度各種予算審議など



健やかな新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

大衡村においては、議会と村民の皆様と一緒に、住みよいまちづくりを目指して、共に取り組んでいきたいと思えます。

今年も、広報委員全員で読みやすい紙面づくり、わかりやすい「議会だより」の編集を目指して参りますので、よろしくお願ひ申し上げます。

小川ひろみ

大衡村議会

広報編集特別委員会

- 委員長 高橋 浩之
- 副委員長 佐藤 貢
- 委員 細川 運一
- 委員 赤間しづ江
- 委員 早坂 豊弘
- 委員 小川ひろみ